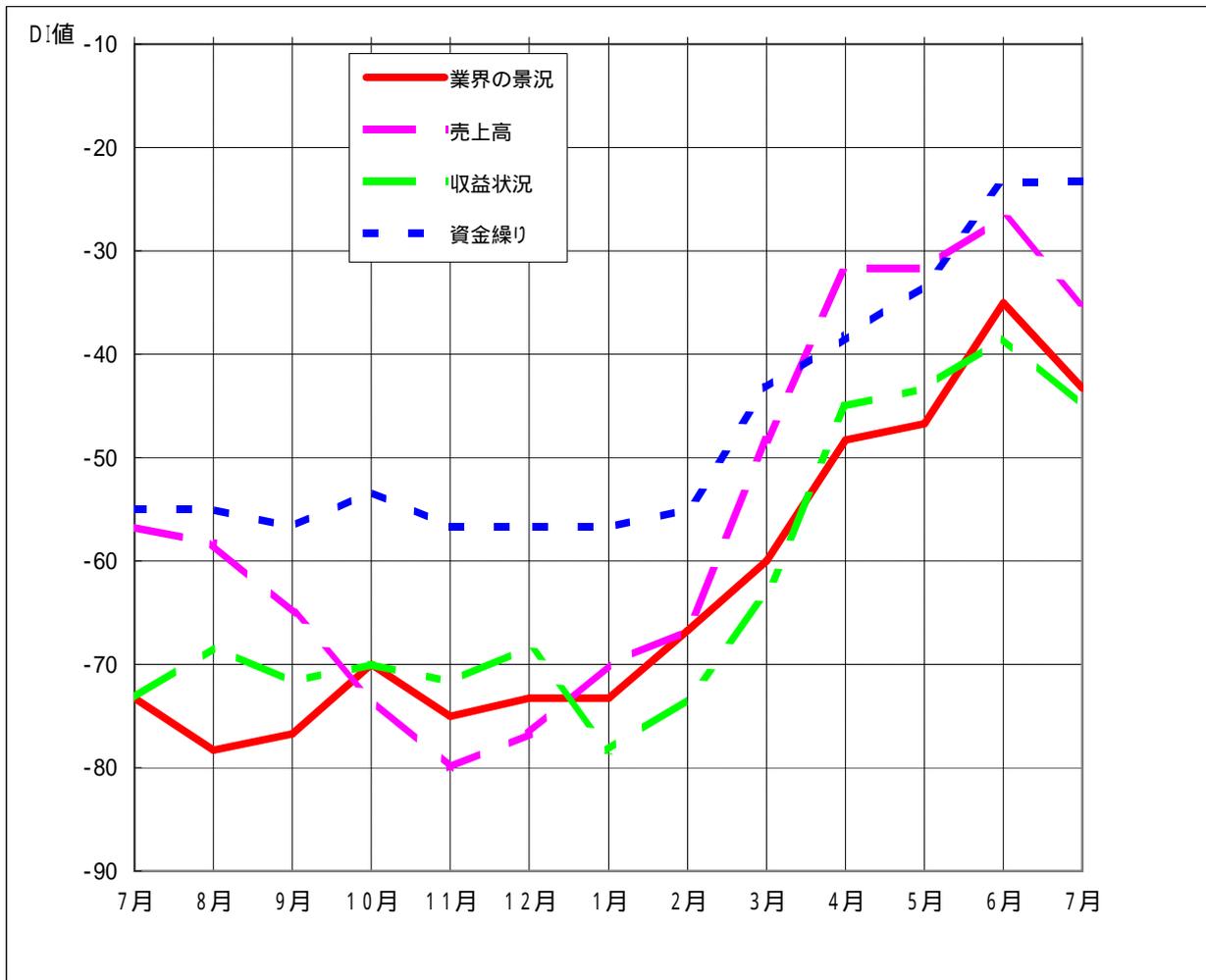


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成21年7月～平成22年7月

単位:ポイント



	H21						H22						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-73.3	-78.3	-76.7	-70.0	-75.0	-73.3	-73.3	-66.7	-60.0	-48.3	-46.7	-35.0	-43.3
売上高	-56.7	-58.3	-65.0	-73.3	-80.0	-76.7	-70.0	-66.7	-48.3	-31.7	-31.7	-26.7	-35.0
収益状況	-73.3	-68.3	-71.7	-70.0	-71.7	-68.3	-78.3	-73.3	-63.3	-45.0	-43.3	-38.3	-45.0
資金繰り	-55.0	-55.0	-56.7	-53.3	-56.7	-56.7	-56.7	-55.0	-43.3	-38.3	-33.3	-23.3	-23.3

7月のDI値は前年同月に比べ、全項目が6ヶ月続けて改善した。「業界の景況」DI値は30ポイント、「売上高」DI値は21.7ポイント、「収益状況」DI値は28.3ポイント、「資金繰り」DI値は31.7ポイントとそれぞれ改善した。前月比で見ると、上向き状態にあったDI値が3項目で悪化した。持ち直し傾向にかげりが見え始め、受注単価の下落、受注数量の減少などが目立つようになり、収益環境の悪化を促進している。

組合の特記事項からは、製造業では受注に偏りが多いという声が、また非製造業では単価が下落したという声が目立った。食料品業、商店街などでは猛暑の影響で売上が低迷したとの声もあった。